

2023年 4月 1日入学

2023年 9月21日入学

理工学研究科博士後期課程

一 般 選 拔

社 会 人 特 別 選 拔

外国人留学生特別選拔

学 生 募 集 要 項

茨城大学大学院

【安全保障輸出管理について】

茨城大学においては、日本国政府が定める外国為替及び外国貿易法に基づき、大学として行う物品の輸出、技術の提供、人材の交流等について、安全保障の観点から適正に管理することとしています。この取組みの一環として、外国人留学生及び外国人研究者の受入れにあたり、事前に研究内容等の確認を実施しています。

法令等により規制されている事項に該当する場合は、希望する研究に制限がかかったり、行えない場合や、教育が受けられない場合があります。また、事前に研究内容等の確認をせず、出願書類提出後に確認依頼をしてしまうと、結果次第では、出願取消になる可能性があります。必ず指導を希望する教員に、「事前の研究内容等の確認の結果、受入れに問題ないこと」の確認をしたのちに、出願書類の提出をしてください。

入学時には、外国為替及び外国貿易法を順守する誓約書に署名していただきます。

[Security Export Control]

Ibaraki University has established the internal regulations, based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act stipulated by the Government of Japan and the university will appropriately manage the export of goods, the transfer of technologies, the exchange of human resources, etc., particularly from the perspective of security. As a part of this effort, foreign students and researchers must submit their research contents before they are accepted as students/staff members/visitors of the university.

If you fall under the category of matters regulated by law, etc., you may be restricted or unable to conduct the research you wish to pursue, or you may not be able to receive the education you seek. In addition, if you do not confirm the content of your research in advance and request confirmation after submitting your application, your application may be cancelled depending on the results.Please be sure to confirm with the faculty member you wish to supervise that there are no problems with acceptance as a result of the prior confirmation of research content, etc. before submitting your application documents.

As a part of the admission process, we will request you to submit a pledge to comply with the Foreign Exchange and Foreign Trade Act.

はじめに

理工学研究科博士前期課程及び博士後期課程は、理学研究科修士課程と工学研究科修士課程を改組再編して、1995年に発足しました。2004年には、X線、中性子線、レーザー光等の量子ビームに関わる技術者及び研究者を育成するために、応用粒子線科学専攻が研究科に新設されました。2016年には博士前期課程においては、応用粒子線専攻と物質科学専攻ならびに理学専攻の一部を再編し、量子線科学専攻を設置するとともに、博士後期課程の既存6専攻を再編し、量子線科学専攻・複雑系システム科学専攻・社会インフラシステム科学専攻を設置しました。

本研究科の博士後期課程を構成する3専攻の教育研究においては、理学と工学の幅広い専門分野を網羅するとともに、以下の能力を有する人材を育成します。

- ・各専門分野で求められる高度な知識及び技能に基づき、高度な研究を自立して遂行しうる能力
- ・専門分野に限らず、関連する分野においても課題を自ら発見・解決しうる能力
- ・専門とする科学・技術の人間社会、特に経営、環境管理、ならびに組織運営における位置付けを理解できる能力
- ・研究成果を、人間社会の中での位置付けとの関連で専門外の人間にも説明すると共に、広く国内外に発信しうる能力
- ・専門性を活かすと共に、社会情勢を踏まえて地域の活性化に取り組みうる資質

上記の能力を有する人材育成を目的とし、本研究科では以下のような資質を有する学生を受け入れます。

- (1) 主たる専攻とする科学・技術の専門分野における、修士課程・博士前期課程修了者に求められるの
と同等以上の知識と技能
- (2) 修得した高度な専門知識、技能を活かし、アカデミアに限らず、民間企業、公的機関や教育界など
社会の幅広い分野で活躍することで、地域の活性化に貢献する意欲と熱意

理工学研究科博士後期課程の入学選抜においては以下の知識、技能及び意欲を評価します。

1. 主たる専攻とする科学・技術の専門分野における知識と技能
2. 問題解決に積極的に取り組む意欲

入学選抜において上記の能力・資質を確認するため、面接（口述試験を含む）及び出願書類により、志望研究分野及び関連分野の理工学的専門知識及び研究経験・実績や、研究に取り組む意欲・研究の発展可能性を評価する選抜試験を行い、総合的に判断します。

I. 募集人員

2023 年 4 月 1 日 入学者（進学者も含む）

専攻名	募集人員
量子線科学	若干名
複雑系システム科学	若干名
社会インフラシステム科学	若干名

2023 年 9 月 21 日 入学者（進学者も含む）

専攻名	募集人員
量子線科学	若干名
複雑系システム科学	若干名
社会インフラシステム科学	若干名

Ⅱ. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位又は専門職学位（学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び4月1日入学については2023年3月までに、9月21日入学については2023年9月までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び4月1日入学については2023年3月までに、9月21日入学については2023年9月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び4月1日入学については2023年3月までに、9月21日入学については2023年9月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び4月1日入学については2023年3月までに、9月21日入学については2023年9月までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び4月1日入学については2023年3月までに、9月21日入学については2023年9月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（文部科学大臣の指定した者）
- ⑧ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（文部科学大臣の指定した者）
- ⑨ 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者、及び4月1日入学については2023年3月末までに、9月21日入学については2023年9月20日までに24歳に達する者

社会人特別選抜に出願できる者は下記のとおりです。

- （1）出願資格①、②、③、④、⑤、⑥及び⑨のいずれかに該当する者で、入学時において継続して2年以上の勤務（在職）経験がある者
- （2）出願資格①、②、③、④、⑤、⑥及び⑨のいずれかに該当する者で、入学時に1年以上在職する者
- （3）出願資格⑦及び⑧のいずれかに該当する者

注：出願資格⑥～⑨のいずれかにより出願しようとする者は、出願資格認定審査を行いますので、「Ⅵ. 出願資格の認定について」を参照の上、出願書類を提出してください。

Ⅲ. 出 願 手 続

一般選抜及び社会人特別選抜に出願を希望する者は、下記により出願してください。

1. 出 願 期 限

2023年2月3日（金）まで

郵送の場合 必ず**書留速達郵便**とし、期間内必着とします。

電子メール添付の場合 受付期間最終日の16：00【日本標準時(JST)】必着とします。

※試験日までに必ず原紙を提出すること。(郵送)

期限までに原紙の提出が無い場合は、受験資格を失います。

2. 提 出 先

入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（各専攻担当教員一覧に記載）

日立：茨城大学工学部入試係 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5010 電子メール ao.gsse[at]ml.ibaraki.ac.jp

水戸：茨城大学理学部入試係 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

電話 029-228-8332 電子メール ao.gsse[at]ml.ibaraki.ac.jp

※メールアドレスの[at]を@に変換して送信願います。

3. 障害がある入学志願者の事前相談

障害がある入学志願者で、受験上および就学上配慮を必要とする者は、相談に応じますので、事前に入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（工学部または理学部入試係）に相談してください。

4. 注 意 事 項

（１）出願書類に不備がある場合は、受理しません。

（２）出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。

IV. 出 願 書 類 等

出願に必要な書類等は次のとおりです。なお、募集要項に本学所定の用紙が綴じ込まれている書類については、その用紙を用いてください。電子メール添付で出願する場合：本学所定の用紙による書類のうちForm1～6については、ホームページからダウンロードし、記入の上、ファイル形式を変更せずに添付してください；その他の書類についてはスキャンして Adobe Acrobat 形式ファイル(PDF)もしくは JPEG ファイルとしたものを添付してください。なお、スキャンした書類については、原紙を受験日までには郵送にて提出してください。

出 願 書 類 等	摘 要
入学志願票・履歴書 (Form1)	必要事項を記入してください。
受 験 票 ・ 写 真 票 (Form2)	必要事項を記入し、写真（縦4cm ×横3cm、正面上半身無帽で、出願前3か月以内に撮影したもの）を貼付してください。ただし、電子メール添付により出願する場合は、写真についてはデジタル画像を貼り付けたものでも可とします。
修士学位論文要旨 または 研究経過報告書 (Form3)	<1> 修士の学位取得者は、学位論文の要旨（2,000 字以内、英語の場合は 1,000 words 以内） <2> 修士の学位の取得見込者は、研究経過報告書 （2,000 字以内、英語の場合は 1,000 words 以内）
研究及び業務上の 業 績 調 書 (Form4)	出願資格①、②、③、④及び⑤のいずれかで出願する者は、出願時までの研究業績、学会等での研究発表論文などの業績を記載してください。
研 究 計 画 書 (Form5)	入学後に行うことを予定している研究の概要を記載してください。 （1,000 字以内、英語の場合は 500 words 以内）
振替払込受付明細書 又は 収 納 証 明 書 （ 検 定 料 ）	検定料 3 0 , 0 0 0 円 次の①～③のいずれかの方法で納入し、納入後に発行される「振替払込受付証明書」又は「収納証明書」を提出してください。 <u>なお、本学大学院修士課程を修了予定で、引き続き本課程に進学を希望する者は、納入する必要はありません。</u> ①コンビニエンスストアで納入する場合 ア. 「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照の上、納入してください。 イ. 納入後は、必ず「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」を受け取ってください。 ウ. 「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。 エ. <u>出願期間最終日の納入受付時間は 1 5 時までとなりますので、ご注意ください。</u> ②クレジットカードで納入する場合 ア. e-apply(イーアプライ)ホームページ(http://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/)にアクセスし納入手続きを行ってください。 イ. 手続き完了後、支払完了後に送信される電子メールに記載のある URL よりアクセ

振替払込受付明細書 又は 収 納 証 明 書 (検 定 料)	スし、PDFファイルをダウンロードの上、「申し込み明細」をプリントアウトしてください。電子メール添付にて出願する場合は、「申し込み明細」のPDFを添付してください。 ウ. 「申し込み明細」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。 エ. <u>出願期間最終日の納入受付時間は15時まで</u>となりますので、ご注意ください。 ③金融機関の窓口で納入する場合 ア. 払込用紙を出願書類提出先から入手してください。郵送希望の場合は、返信用封筒（郵便切手（380円分）を貼り付けた角形 2 号封筒）をお送りください。 イ. 別添の払込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。 郵便局、銀行、信用金庫、農協などの全国の金融機関窓口で納入できます。 ウ. 振替払込受付証明書（お客さま用）と振替払込請求書兼受領証には、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取ってください。 ○必ず金融機関窓口にて納入してください。 ※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。 ○『振替払込受付証明書（お客さま用）』は、他の出願書類と併せて提出してください。 なお、『振替払込請求書兼受領証』は本人控ですので、提出する必要はありません。受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。 ○払込用紙の「通信欄」、「ご依頼人」等欄の「No.」は受験番号ではありません。 【注意事項】 1. 振込時の振込手数料は、振込人負担となります。 2. 出願書類受理後は、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還できません。 ただし、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、返還請求ができますので、下記に申し出てください。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。 <u>茨城大学財務部財務課経理グループ（電話 029-228-8561）</u> 3. コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等については下記にお問い合わせください。 (株) ディスコ「学び・教育」出願・申込サポートセンター(電話 0120-708898)
修了（見込）証明書	出願資格①、②、③、④及び⑤のいずれかで出願する者のみ提出してください。
学業成績証明書等 【出願資格②で出願する外国人留学生のみ】	出身大学の学長又は学部長（研究科長）、もしくは出身学校の学校長が作成したもの。 ・学士課程もしくは相当の課程の成績証明書 ・修士課程もしくは相当の課程の成績証明書
住 民 票 【外国籍の者のみ】	市区町村長が交付したもの。 国籍、在留資格及び在留期間が明記されたもので、出願前1ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

	住民票を提出できない場合は、パスポートの写しを提出してください。 出願書類に記入する氏名は、住民票もしくはパスポートに記載のものと同一にしてください。
受験票等送付用封筒	市販の封筒(長形 3 号)を用い、住所・氏名及び郵便番号を記入し、344 円分の郵便切手を貼付してください。 <u>※電子メール添付により出願される場合は、不要です。送信元電子メールアドレスに Adobe Acrobat形式(PDF)にて受験票を送付します。</u>
宛 名 票 (Form 6)	本学所定の宛名票に、必要事項を記入してください。

V. 選抜方法・合格者発表等

1. 選 抜 方 法

面接（口述試験を含む）及び出願書類の内容を総合して判定します。

なお、口述試験の内容は、研究分野に関連した科目についての専門的学力及び修士論文等の内容について問います。

面接は1時間程度です。

2. 入 試 日 時

2023年3月1日（水）～2023年3月3日（金）の間の指定する日時

3. 試 験 場

受験票に記された、下記のいずれかの試験場（試験場を間違えないよう注意してください。）

水戸キャンパス試験場 茨城県水戸市文京2-1-1

日立キャンパス試験場 茨城県日立市中成沢町4-12-1

東海サテライトキャンパス試験場 茨城県那珂郡東海村白方162-1

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、自宅でのオンライン面接となる可能性があります。

もしオンライン面接となった場合、面接手順は志望指導教員から説明します。

4. 合 格 者 発 表

2023年3月13日（月）（予定）

合格者に郵送により通知します。

電話等による可否の問い合わせには、一切応じることができません。

*注 意 事 項

（1）面接（口述試験を含む）の会場・時間等については、事前に連絡します。出願する前に、上記入試日時の中の自分の都合を志望指導教員に連絡しておいてください。

（2）試験当日は、「受験票」を忘れずに持参してください。

（3）受験の際の宿泊の斡旋は行いません。

VI. 出願資格の認定について

出願資格⑥、⑦、⑧もしくは⑨により出願しようとする者は、事前に本研究科の入学試験出願資格認定審査において、出願資格の認定を行いますので、以下により申請手続きをして審査を受けてください。

1. 出願資格認定審査書類

出願に必要な書類は次のとおりです。

入学試験出願資格認定審査申請書及び審査調書	本学所定の用紙 (Form 7-1)
出願資格認定審査に関する志望指導教員による意見書	本学所定の用紙 (Form 7-2)
研究及び業務上の業績調書	本学所定の用紙 (Form 4)
論文の写し等 (該当者のみ)	業績調書に記載した論文 (複数ある場合は代表的な論文1編) の写し
卒業 (修了) 証明書	最終学校の卒業 (修了) 証明書
学業成績証明書等	出身大学の学長又は学部長 (研究科長)、もしくは出身学校の学校長が作成したもの。 ・出願資格⑦及び⑧のいずれかで出願する者は、学部の成績証明書 ・出願資格⑨で出願する者は、最終学校の成績証明書
在職期間証明書	本学所定の用紙 (Form 8)
博士論文研究基礎力審査に係る確認書	在籍しているもしくは在籍していた学校等の長が発行したもの ※出願資格⑥により出願しようとする者
返信用封筒	住所・氏名・郵便番号を記入し、344 円分の郵便切手を貼付した長形 3 号の封筒 ※電子メール添付により出願された場合は、不要です。送信元電子メールアドレスに <u>Adobe Acrobat 形式(PDF)にて出願資格認定審査結果を送付します。</u>

注：上記の書類のうち、出願書類に含むものは再度使用します。

2. 出願資格認定審査申請受付期限

2023年1月20日 (金) まで

郵送の場合 封筒に「**博士後期課程出願資格認定申請書在中**」と朱書のうえ、必ず書留速達郵便とし、期間内必着とします。

電子メールの場合 件名を「**博士後期課程出願資格認定申請 (氏名を記入)**」とし、出願書類を Microsoft Word 形式または Adobe Acrobat 形式(PDF)にて提出すること。受付期間最終日の 16 : 00 【日本標準時(JST)】必着とします。
※なお、出願資格が認定された場合の原紙の提出については、「III. 出願手

続」に記載の注意事項に従ってください。

3. 提出先

入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（担当教員一覧に記載）

日立：茨城大学工学部入試係 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5222 電子メール ao.gsse[at]ml.ibaraki.ac.jp

水戸：茨城大学理学部入試係 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

電話 029-228-8332 電子メール ao.gsse[at]ml.ibaraki.ac.jp

4. 出願資格認定審査結果発表

2023年1月27日（金）に本人あて郵送（速達）または電子メールにより通知します。

VII. 個人成績の情報開示について

理工学研究科博士後期課程の入学試験の個人成績を、下記により受験者本人に限って開示します。

1. 申 込 期 間 等

2023年4月10日（月）から4月28日（金）まで

9：00から17：00まで（土・日曜日及び祝日を除く。）

2. 申 込 者

受験者本人に限ります。（代理人は不可）

3. 申 込 方 法

次の書類を持参のうえ来学し、所定の申請書により申し込んでください。

①本学の受験票

②本人確認のできる書類（運転免許証、パスポート等）

③返信用封筒（長形3号／12.0cm×23.5cm）

申込者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、519円分郵便切手（書留料金含む）を貼り付けてください。

なお、電話・郵便等での申し込みは受け付けておりません。

4. 申 込 先

茨城大学工学部入試係 茨城県日立市中成沢4-12-1 または
茨城大学理学部入試係 茨城県水戸市文京2-1-1

5. 開 示 方 法

受験者本人あてに書留郵便で後日送付します。

6. 開示内容

【評価】 不合格者には、段階別（3段階）に区分して開示します。

ただし、各募集単位の不合格者（欠格者は含まない）が5人未満の場合は開示しません。

合格者には、開示しません。

【得点・順位】 開示しません。

VIII. 入 学 案 内

1. 入学手続、入学料及び授業料

(1) 入学手続の詳細については、別途通知します。

(2) 入学手続の際に納入する金額は、次のとおりです。

入 学 料	2 8 2, 0 0 0 円	本学大学院修士課程から引続き進学する者は、納入する必要はありません。
授 業 料	前期分 2 6 7, 9 0 0 円 年 額 5 3 5, 8 0 0 円	

注1：入学手続きまでに入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び授業料が適用されることになります。

注2：在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることになります。

注3：入学料、授業料の納付が経済的理由により困難で、かつ学業優秀な者、又は風水害の被災等の特別な事情のある者には、選考の上、減免が認められる制度があります。詳しくは茨城大学学生支援センター（TEL 029-228-8067・8059）までお問い合わせください。

2. 修了要件及び学位

理工学研究科博士後期課程を修了するためには、本課程に3年以上在学し、各専攻所定の科目について14単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査並びに最終試験に合格しなければなりません。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績をあげた者については、博士前期課程の在学期間と通算して3年以上在学すれば足りるものとします。

本研究科博士後期課程を修了した者には、博士（工学）、博士（理学）、博士（学術）のうち、学位論文の内容にふさわしい学位を授与します。

3. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを申し出た時は、学長の許可が得られることがあります。

なお、入学時から希望する場合は、入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（理学部または工学部入試係のいずれか）に出願時にお問い合わせください。

IX. 問い合わせ先

この学生募集要項及び出願に関するお問い合わせは、入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（担当教員一覧に記載）に行ってください。

日立：茨城大学工学部入試係 電話 0 2 9 4 - 3 8 - 5 0 1 0

水戸：茨城大学理学部入試係 電話 0 2 9 - 2 2 8 - 8 3 3 2

各専攻教員 担当分野・出願窓口一覧

1. 量子線科学専攻

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
環境放射線科学		田 内 広	遺伝子損傷の修復機構、放射線分子生物学に関する研究	水戸
		鳥 養 祐 二	放射性核種の環境動態に関する研究と、核融合炉燃料の安全取扱に関する研究	水戸
		中 村 麻 子	老化とがん化に関する細胞生物学的研究	水戸
		山 口 憲 司	量子ビーム（放射線）応用科学	水戸
		横 谷 明 徳	放射線照射効果に関する生物物理学的研究	水戸
		(連携教員)		
		木 名 瀬 栄	放射線防護、特に人体影響評価を目的とした放射線及び線量の測定・評価	水戸
物質量子科学	※2	伊 賀 文 俊	機能性物質の開発と量子線による物性研究	水戸
		池 田 輝 之	ナノ構造科学、熱電材料、機能材料	日立
		岩 瀬 謙 二	構造・機能材料、水質貯蔵材料、中性子回折	日立
		岩 本 知 広	粒界・界面、接合工学、電子顕微鏡学、量子線を使った材料組織解析	日立
		桑 原 慶 太 郎	中性子・X線散乱実験による強相関電子系の電子状態に関する微視的研究	水戸
		阪 口 真	素粒子論、ゲージ理論、超弦理論	水戸
		篠 嶋 妥	材料実験の計算機シミュレーション、薄膜物性工学	日立
		佐 藤 成 男	量子ビーム回折・散乱による金属ミクロ組織解析学、結晶塑性学	日立
		佐 藤 直 幸	プラズマ理工学からのプラズマ生成・計測・制御とナノテクノロジープラズマプロセスへの応用	日立
		鈴 木 徹 也	鉄鋼材料、軽金属材料の塑性加工、ミクロ組織制御、中性子回折による検討	日立
		中 川 尚 子	統計力学、非線形非平衡系の物理学、理論生物物理学	水戸
		中 野 岳 仁	配列ナノ空間を用いた新しい相関電子系の物質開発と物性研究	水戸
		西 剛 史	高温における熱物性評価、局所構造解析	日立
		西 野 創 一 郎	量子線を利用した機械構造物の健全性評価と材料解析、材料強度学、材料加工学（塑性加工学、接合工学）	日立
		百 武 慶 文	素粒子論、弦理論	水戸
		福 井 隆 裕	物性理論	水戸
	※1	藤 原 高 徳	素粒子論、場の理論	水戸
		湊 淳	防災や環境計測を目的として画像処理、ネットワークセンシング、光計測技術などを使いハードウェア技術と情報処理技術との組み合わせによる技術開発	日立
		横 山 淳	新奇超伝導現象や量子スピン揺らぎに対する巨視的・微視的実験手法を用いた研究	水戸
		(連携教員)		
		平 出 哲 也	放射線化学、陽電子（電子の反粒子）・ポジトロニウム（電子と陽電子の結合状態）科学	水戸

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
化学・生命		吾 郷 友 宏	典型元素の特徴を活かした機能性有機分子の開発と量子線を使った機能・構造解析	日立
		海 野 昌 喜	量子線を使ったタンパク質の構造機能相関の研究・生体高分子特論	日立
		江 口 美 佳	固体高分子形燃料電池およびリチウムイオン電池の電極材料開発と量子線を利用した構造解析	日立
		大 友 征 宇	光合成に関わる色素膜タンパク質複合体の構造解析と機能解明	水戸
		北 野 誉	塩基配列の多型解析・系統解析に基づく遺伝子進化の研究	日立
	※1	木 村 成 伸	電子伝達系タンパクの構造・機能に関する研究とその応用	日立
	※3	高 妻 孝 光	量子ビームによる金属タンパク質の構造と機能に関する研究・量子生物化学	水戸
		小 林 芳 男	液相法による機能性薄膜および微粒子の合成法の開発と量子線を利用した微細構造解析	日立
		佐 藤 格	天然物化学および天然物合成を指向した有機合成反応の開発	水戸
		庄 村 康 人	金属タンパク質の生合成・機能に関する量子線構造化学	日立
		中 島 光 一	溶液反応化学に立脚した機能性セラミックスの合成と構造解析	日立
		西 川 浩 之	分子性半導体を中心とした機能性物質の開発と物性に関する研究	水戸
		福 元 博 基	電子・光機能性 π 共役高分子の合成・機能評価と量子線を利用した構造解析	日立
		藤 澤 清 史	生体関連遷移金属モデル錯体の構造と分光学的性質の研究	水戸
		森 聖 治	量子化学を基盤とする化学反応機構に関する理論的研究	水戸
		森 川 敦 司	高分子科学、縮合系高分子の合成	日立
		山 内 智	気相法による薄膜合成とデバイス開発および量子線を利用した構造と機能の解析	日立
		山 口 央	ナノ多孔質材料を利用したナノバイオデバイスの開拓に関する研究	水戸
	(連携教員)			
		香 川 博 之	有機機能性材料、高分子材料に関する研究	日立
		渡 邊 雅 之	核エネルギー化学	水戸

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
ビームライン科学		阿 部 仁	XAFSを用いた物質や材料の化学状態および局所構造解析、XAFSを軸とした新しい測定手法の開発と応用	水戸
		飯 沼 裕 美	スピン編極ミュオンビームを用いた素粒子実験、生体科学実験	水戸
		石 垣 徹	中性子回折を用いた機能性材料の結晶構造に関する研究	日立
		岩 佐 和 晃	中性子およびX線散乱による新しい電子相転移と構造相転移を探索する物性物理学	水戸
		大 友 季 哉	中性子を用いた材料物性研究手法の開発と水素誘起物性研究	日立
		大 山 研 司	J-PARCでの中性子散乱を利用した材料物性・強相関電子系の研究、および新しい中性子散乱実験法（ホログラフィー法）の開発	日立
		奥 隆 之	中性子の光学的性質を利用した中性子ビーム制御および中性子ビーム実験技術の開発と応用研究	水戸
		日 下 勝 弘	J-PARCでの中性子単結晶回折装置の開発とこれを用いた中性子構造生物学研究	日立
		小 泉 智	中性子小角散乱を利用したソフトマターの構造と機能に関する研究および新しい中性子散乱装置の開発	日立
		田 中 伊 知 朗	水素・水和水に関する量子線構造生物学と中性子利用法の開発	日立
		星 川 晃 範	中性子およびX線による水素結合に関連した材料の研究と装置開発	日立
		細 谷 孝 明	X線および中性子回折を用いた有機固相反応の研究と中性子回折測定制御系の研究開発	日立
		前 田 知 貴	化学合成、ナノ・マイクロ構造解析、物性評価の3つの技術を駆使した機能性ソフトマテリアルの創製	日立
		目 時 直 人	中性子散乱による物質の構造と性質の解明と新規な中性子散乱手法の開発	水戸
		山 田 太 郎	中性子回折を利用したタンパク質分子構造の研究	日立
	(連携教員)			
		木 下 豊 彦	放射光を用いた固体・表面・界面・ナノ材料の電子状態解析	日立
		国 枝 賢	核反応断面積の理論計算および核データライブラリの開発と応用	日立
		近 藤 恭 弘	加速器技術・高周波加速器ビームライン科学	水戸
		佐 藤 哲 也	核・放射化学：重イオン核反応で合成される超アクチノイド元素のシングルアトムレベルでの化学	水戸
		筒 井 智 嗣	量子ビーム（主として放射光）の横断的利用による物質科学	日立
		肥 後 祐 司	高温高圧環境下における結晶構造・物性の放射光X線その場測定	日立
		星 野 真 人	放射光X線画像計測手法および計測装置の開発に関わる研究	日立

2. 複雑系システム科学専攻

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
数学・情報数理学	※3	大 塚 富 美 子	幾何学（特に測地線論などを用いた大域的研究）	水戸
	※2	木 村 真 琴	微分幾何学	水戸
		下 村 勝 孝	複素解析学、ポテンシャル論	水戸
		鈴 木 香 奈 子	非線形解析学、反応拡散系	水戸
		長 谷 川 雄 央	複雑ネットワーク、ランダム系の統計物理	水戸
		藤 間 昌 一	数理現象の計算解析・アルゴリズム	水戸
		村 重 淳	非線形波動、数値解析	水戸
		渡 邊 辰 矢	非線形散逸系の現象解析	水戸
機能システム科学		及 川 真 平	植物生態学、地球環境変化	水戸
		大 橋 朗	液界面を反応場として利用した合成、分離、検出法の開発	水戸
		神 子 島 博 隆	金属化合物を用いる有機合成反応の開発	水戸
		加 納 光 樹	淡水・汽水魚類の保全生物学	水戸
		北 出 理	シロアリ類と共生微生物の生態学・進化学	水戸
		金 幸 夫	時間・空間分解分光法と微小電極を使ったマイクロ分析・化学に関する研究	水戸
		島 崎 優 一	生体関連配位子を用いた金属錯体の合成・反応性に関する研究	水戸
		野 田 悟 子	シロアリ類の共生微生物の進化に関する研究	水戸
		諸 岡 歩 希	社会性膜翅目昆虫の分類学・系統学・生態学	水戸
	(連携教員)			
		深 谷 訓 久	触媒技術を活用した機能性化学品の高効率合成プロセスの開発	水戸

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
宇宙地球環境システム科学		岡 田 誠	古地磁気学、古海洋学、その他堆積物を用いた古環境変動復元に関する研究	水戸
		片 桐 秀 明	宇宙高エネルギーガンマ線の観測による宇宙線の研究	水戸
		河 原 純	固体地球物理学（地震波の伝播と地震動の研究）	水戸
		北 和 之	大気環境科学（オゾンなど、地球環境に重要な大気物質の研究）、人工衛星等からの地球大気のリモートセンシング	水戸
		小 荒 井 衛	第四紀地質学、応用地形学、地理空間情報科学（地表の変動が人間環境に与える影響（災害）に関する研究）	水戸
		釣 部 通	理論天体形成論、宇宙流体力学	水戸
		橋 爪 光	惑星科学、宇宙地球化学、惑星物質学、アストロバイオロジー	水戸
		野 澤 恵	太陽観測、シミュレーションを軸に太陽及び天体物理に関する研究	水戸
		長 谷 川 健	火山学、特に地質学、岩石学、地球化学および古地磁気学を用いた火山の研究	水戸
		藤 谷 渉	宇宙化学（隕石の同位体分析による太陽系形成過程の研究）	水戸
		百 瀬 宗 武	電波天文学、星・惑星系形成、干渉計技術に関する研究	水戸
	※3	吉 田 龍 生	天体の高エネルギー現象に関する研究	水戸
		米 倉 覚 則	電波天文学、星形成、日立・高萩32m電波望遠鏡を用いた研究	水戸
		若 月 泰 孝	降水に関わる気象・気候学および水工学的研究	水戸
生産システム	※1	伊 藤 伸 英	ナノ表面加工、環境調和型加工法	日立
		清 水 淳	マイクロ・ナノトライボロジー、超精密加工	日立
		周 立 波	精密工学、ナノファブリケーション、計測・評価技術	日立
		尾 関 和 秀	生体材料、薄膜形成法、無機材料	日立
		中 村 雅 史	環境調和型設計、表面改質、高分子材料の強度信頼性	日立
材料システム		青 野 友 祐	固体物性、ナノサイエンス	日立
		鵜 殿 治 彦	電子材料、半導体デバイス、シリサイド半導体	日立
		倉 本 繁	金属加工、材料設計、構造用金属材料	日立
	※2	車 田 亮	機械材料工学、材料特性評価	日立
		小 峰 啓 史	機能材料工学、デバイス工学	日立
		島 影 尚	超伝導エレクトロニクス	日立
		和 田 達 明	数理工学、統計力学	日立

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
計測・制御システム		乾 正 知	高速・高精度な図形処理技術、図形処理技術の機械製造自動化への応用	日立
		岩 路 善 尚	モータ制御、モータ応用システム	日立
		小 貫 哲 平	ナノ材料、マイクロシステム工学、光応用生産技術	日立
	※1	近 藤 良	制御工学、制御理論、ロボット工学	日立
		長 山 和 亮	生体医工学、メカノバイオロジー、マイクロ・ナノ計測・操作	日立
		福 岡 泰 宏	ダイナミックロボット、歩行ロボット	日立
	※2	増 澤 徹	医用メカトロニクス、磁気浮上人工心臓、医用工学	日立
		道 辻 洋 平	機構ダイナミクス学、鉄道車両のダイナミクスと制御、自動車の I T S に関する研究	日立
		森 善 一	介護福祉ロボティクス、感性ロボティクス、メカトロニクス	日立
		楊 子 江	不確かさを有するシステムの適応学習制御、制御システムのモデリングと同定	日立
エネルギーシステム		稲 垣 照 美	熱工学、赤外線工学、流体工学、環境工学	日立
		鵜 野 将 年	パワーエレクトロニクス	日立
		酒 井 康 行	燃焼、化学反応速度論、反応モデリング	日立
		田 中 光 太 郎	熱工学、燃焼工学、レーザー計測	日立
		田 中 伸 厚	数値流体解析 (CFD) 、複雑流動現象、原子力熱流動、海洋エネルギー	日立
		西 泰 行	流体工学、流体機械	日立
		柳 平 丈 志	高電圧パルスパワー工学	日立
		李 艶 栄	熱流体工学	日立
		粉 川 広 行	キャビテーション損傷に対する構造材料の健全性	日立
	(連携教員)			
		濱 田 一 弥	核融合エネルギー工学	日立

3. 社会インフラシステム科学専攻

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
社会インフラ基礎	※1	上 原 清 彦	ファジィ理論、計算知能	日立
		梅 津 信 幸	情報科学（画像検索、データ圧縮）	日立
		熊 澤 貴 之	建築都市デザイン、建築意匠、建築設計、建築計画、景観設計	日立
		新 納 浩 幸	自然言語処理、機械学習、Webアプリケーション	日立
		鈴 木 智 也	非線形時系列解析、複雑系、カオス、人工知能	日立
		藤 芳 明 生	形式言語理論、グラフアルゴリズム	日立
都市・環境インフラシステム		車 谷 麻 緒	計算力学・応用力学・構造物の非線形数値解析法	日立
		桑 原 祐 史	衛星リモートセンシングデータの処理／解析技術、各種国土情報の計測・解析、CO2濃度と地域特性の分析技術	日立
	※3	小 林 薫	環境地盤工学、不飽和地盤工学、地下空間利用技術に関する研究、持続可能な地下水資源に関する研究	日立
		辻 村 壮 平	環境心理、建築音響、応用音響、視環境、光環境、人の感覚や心理に基づいた建築環境デザイン手法の研究	日立
	※3	坪 井 一 洋	数値流体力学、計算科学、応用数学	日立
		外 岡 秀 行	リモートセンシング、画像処理、空間情報システム	日立
		信 岡 尚 道	海岸・沿岸工学／防災・利用・環境を統合した沿岸管理計画のための統合シミュレーションモデルの開発	日立
		原 田 隆 郎	社会基盤施設の維持管理工学／AL（人工生命）技術を利用したマネジメントシステムの開発	日立
		榎 本 忠 夫	精密な室内力学試験・模型実験・現地計測を主とした地盤工学、土質力学、地盤防災工学、地盤耐震工学に関する研究	日立
		平 田 輝 満	交通システム工学、運輸政策、都市・交通システムの環境影響評価、災害時交通運用、航空交通と空港計画	日立
		藤 田 昌 史	水環境保全・水インフラ技術	日立
		横 木 裕 宗	気候変動への沿岸域の影響と適応策、沿岸域環境の物理的解析	日立

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
情報・通信インフラシステム		上 田 賀 一	ソフトウェア工学、ソフトウェアモデル検証	日立
		鵜 野 克 宏	レーザ応用計測、光情報処理	日立
		鎌 田 賢	パターンの近似・分析の理論、情報システム応用	日立
		木 村 孝 之	撮像デバイス、集積回路	日立
		祖 田 直 也	電磁界数値解析、非線形材料特性	日立
		武 田 茂 樹	無線通信システム、アンテナシステム	日立
		那 賀 明	光通信工学	日立
		羽 渕 裕 真	通信の方式と理論に関する研究	日立
		宮 嶋 照 行	通信方式、信号処理	日立
		横 田 浩 久	光エレクトロニクス、光通信システム	日立
		米 山 一 樹	暗号理論、プライバシー保護	日立
		王 瀟 岩	通信・ネットワーク工学	日立
		(連携教員)		
		松 井 隆	光計測工学特論	日立

※1：2024年3月退職予定
※2：2025年3月退職予定
※3：2026年3月退職予定

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください（インターネット登録不要）

1

お申込み

⑦ セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON

Loppi

MINISTOP Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたも、コンビニに、

FamilyMart

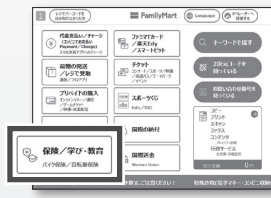
Famiポート マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」または「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「申込・保険・請求・募金(7)」または「保険／学び・教育」よりお申込みください。



「申込・保険・請求・募金(7)」または「保険／学び・教育」

学び・教育

各種(入学検定料等)お支払いサービス

茨城大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票／申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2

お支払い

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、Famiポートまたはマルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



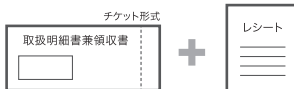
*出願期間最終日の支払受付時間は15時までとなります。 *お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	440円
	入学検定料が5万円以上	660円

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

② お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



(ファミリーマート)

② お支払い後受領書(レシート)をお受け取りください。



「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、他の出願書類とともに提出してください。

受領書(レシート)を他の出願書類とともに提出してください。

3

出願

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください（インターネット登録不要）

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある
「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」より
お申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON

Loppi

MINISTOP

Loppi

<http://www.lawson.co.jp>

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある
「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」より
お申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門・小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある
「Famiポート」へ。



2020年9月
まで
利用可能

TOP画面の「申込・保険・請求・募金(7)」より
お申込みください。



申込・保険・請求・募金(7)

学び・教育

各種(入学検定料等)お支払いサービス

茨城大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

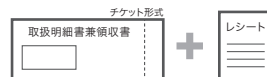
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、Famiポート)が出力されますので、
30分以内にレジにてお支払いください。



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi、Famiポート)。

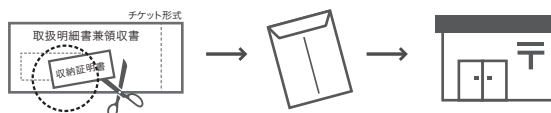


*出願期間最終日の支払受付時間は15時までとなります。
*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税別)	入学検定料が5万円未満	400円
	入学検定料が5万円以上	600円

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の
「収納証明書」部分を切り取り、
他の出願書類とともに提出してください。



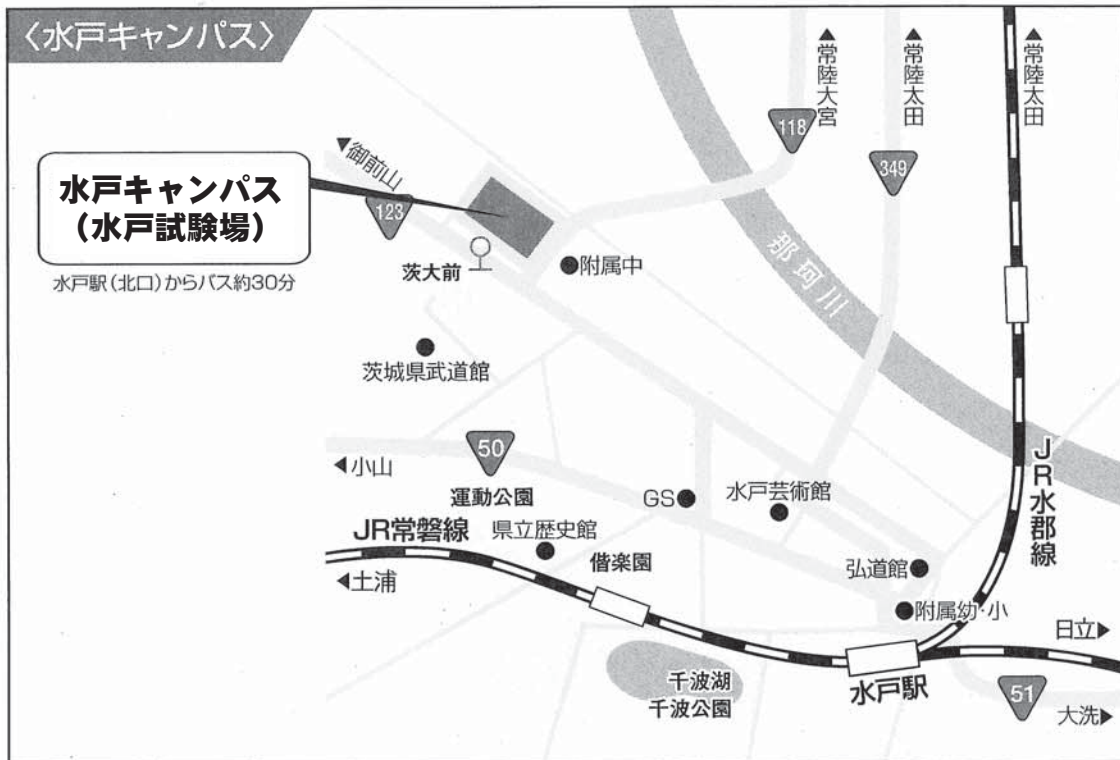
◎試験場等案内

水戸キャンパス

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/index.html>

日立キャンパス

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/hitachi/index.html>



水戸駅北口のりば

⑦番	栄町経由	茨大行き	「茨大前」	もしくは「茨大正門前」	下車
⑤番	新原経由	茨大行き	「茨大前」	もしくは「茨大正門前」	下車



茨城大学大学院 理工学研究科入試係

茨城大学ホームページ

<http://www.ibaraki.ac.jp/>

理工学研究科ホームページ

<http://www.gse.ibaraki.ac.jp/>

(出願窓口：水戸)

〒310-8512 水戸市文京 2 丁目1番1号

TEL:029-228-8332

(出願窓口：日立)

〒316-8511 日立市中成沢町 4 丁目 1 2 番 1 号

TEL:0294-38-5010